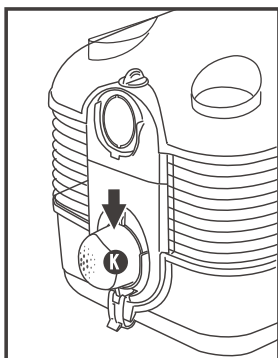
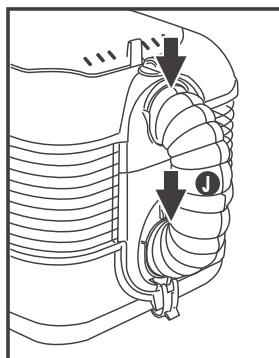


STEP 5 バブルカップ及びUターンパイプの取付け

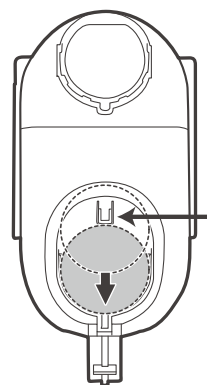
- ① 左サイドジョイント**G**の下方の受け口に、バブルカップ**K**をジョイント部の溝に沿うように上から下へスライドさせて、はめ込んで下さい。
- ② 右サイドジョイント**F**の上下の受け口にUターンパイプ**J**を両口を沿わせて、ゆっくりと上から下にスライドさせてはめ込んで下さい。



左サイドジョイント側



右サイドジョイント側



○ バブルカップやパイプを接続時は、受け口のツメの下までしっかりと降ろして下さい。

ツメ

STEP 6 ウォーターボトルの設置

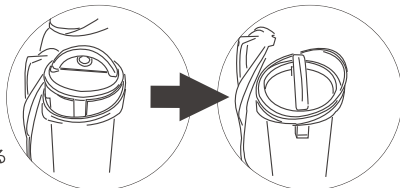
ウォーターボトル**L**のキャップをはずし、水を満水にして再度キャップをしっかりと締め、ノズル先端のステンレスボールを指で何度か押し、ノズル部に入っている空気を完全に抜いてから、ルーフトップ**B**の前方のジョイント穴に差し込んで下さい。



水が一杯だったウォーターボトル

ノズル内にたまっている空気を完全に抜く。

指で先端のボールを数回つつく。



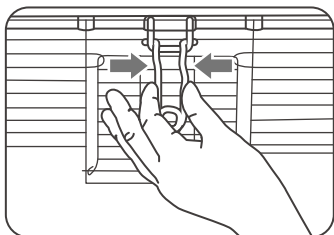
おろしたての給水ボトルは、内部や部品が乾燥している為、特に水漏れがおりやすい場合があります。 飲み水を入れる前に、ボトルやノズル部をぬるま湯で充分に洗浄し、ボトル内部をスムーズに水が行き渡るようにしてから、飲み水を入れるようにすると、水漏れが起きにくくなります。

正面扉の開閉

正面扉の開閉には、扉についているロックの中ほどのふくらみを両側からつまむと、ロックが外れます。扉を閉める時は同様につまんだ状態でロックの先がしっかりとメッシュパネルの輪(ロックのかかる場所)に差し入れて下さい。

(※ ワイヤの引っ掛かりが不十分だとハムスターが脱走する恐れがあります)

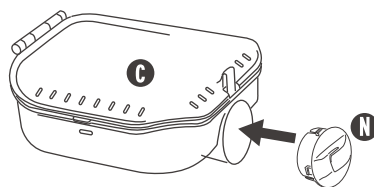
(※ 脱走の予防には別途ナスカン等で補強する事も有効です。)



メンテナンス (掃除方法などについて)

まず、ハムスターを別の容器等の安全な場所に移し変えるようにして下さい。組立て時の方法を参照して、ルーフトップ等の各パーツを取り外し、床材や生活用品を取り出してお手入れするようにして下さい。

- スカイルームを取り外し、天キャップをスカイルームの丸口に差し込むと、簡易な別部屋としても利用できます。
(※ご注意(完全なロックはさせませんので、ハムスターから目を離さないようにして下さい。))

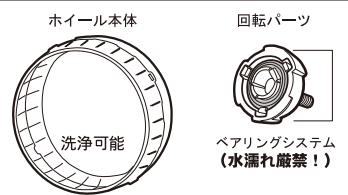


★ スカイルームがそのまま取り外せるので、用品の出し入れや掃除が簡単！

ホイールのお手入れ時のお願い・ご注意

- サイレントホイール フラットの回転パーツは水で濡らさないで下さい。

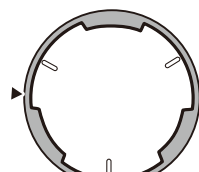
ホイールを洗浄する場合は、ホイール本体から回転パーツを外し、ホイール本体のみをお手入れして下さい。
(回転パーツ内部のベアリングは濡らしたり、砂等のゴミが入らないように注意して下さい。)



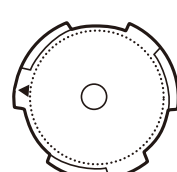
■回転パーツの取り付け / 取り外し方

回転パーツのベアリング(金属部品)が見えている側を、ホイール本体の背面中央にある、受け部に凹凸を合わせて、はめてから回転パーツのカバー部を(ロックがかかる)最後まで、しっかり回転させて固定します。

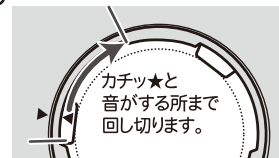
※取り外す時は、取り付け時の逆方向に回転パーツを回して下さい。



受け部側
※ホイール本体



カバー側
※回転パーツ



受け部と回転パーツには、取り付け用のガイドマーク(△)があります。△同士が向かい合うようにはめてから、回転パーツのカバーを回転させて、奥まで回しきりましょう。

ホイール本体のお手入れには柔らかい布か、スポンジを使用して、水、またはぬるま湯で洗って下さい。金属製のタワシや薬品、60℃以上のお湯の使用は、キズや変形、変質の原因となります。お手入れ後は完全に乾燥したホイール本体を、再び回転パーツの凹凸に合わせて取り付けます。

【回転パーツ取り扱いの注意点】

回転パーツ内部には、ベアリング(金属部品)が内蔵されています。絶対に水で洗わないで下さい。ベアリングがサビで動かなくなります。また、ベアリング部を湿度の高い環境に長く置いたり、本体を外した状態で砂等をかけたり、むやみに手で触ったりしないようにして下さい。

※ ハムスターの生活音や若干の回転音、またホイールを固定したケージ部分が揺れる事によって発する音に関しましては、ご容赦くださいます様お願い致します。

※ サイドジョイントのパイプ接続口は、きつめに設定してありますので、パイプ等を外す場合は、本体を押さえながら慎重に行ってください。乱暴に扱わずと破損する場合があります。(パイプの接続等、樹脂同士の勘合が硬く感じる場合は、ハンドクリーム等を少量塗って使用すると、よりスムーズに着脱ができるようになります。)



販売者：株式会社 三晃商会
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com

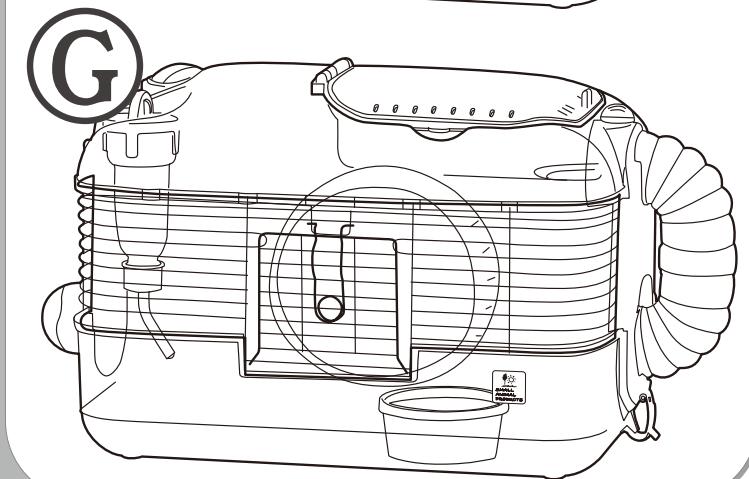
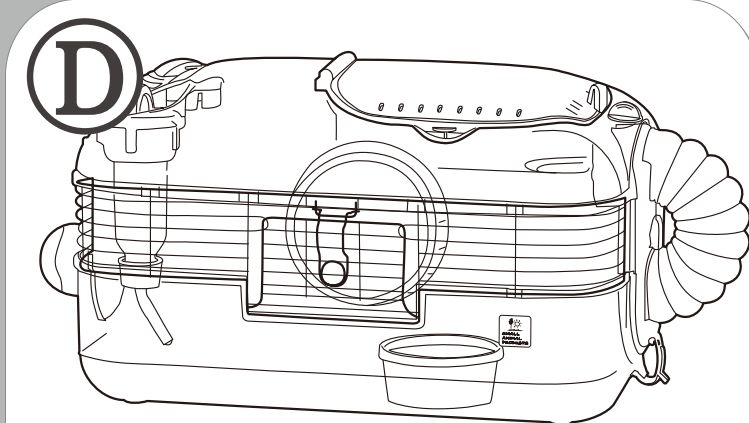


ハムスター用飼育キット

LOOK² ルックルック Fortune フォーチュン

組立て取扱い説明書

この度は、当社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この取り扱い説明書をよく読んで、正しくご使用下さい。



品目・品名	ハムスター飼育用キット ルックルック フォーチュン
原産国	中国 (MADE IN CHINA)
主な材質	本体樹脂部分……P S ・ P P ケージワイヤー……スチール
製品サイズ (組み立て時)	D (外寸) : W510 × D 280 × H 230mm G (外寸) : W510 × D 280 × H 280mm
製品重量	D : 約1350g G : 約1500g

202007

SANKO

この度は、当社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用になる飼育者やペット、また、物品への損害を未然に防ぐ為に本書をよく読んで頂き
正しく理解してご使用下さい。この説明書は大切に保管して頂き、必要な時にお読み下さい。

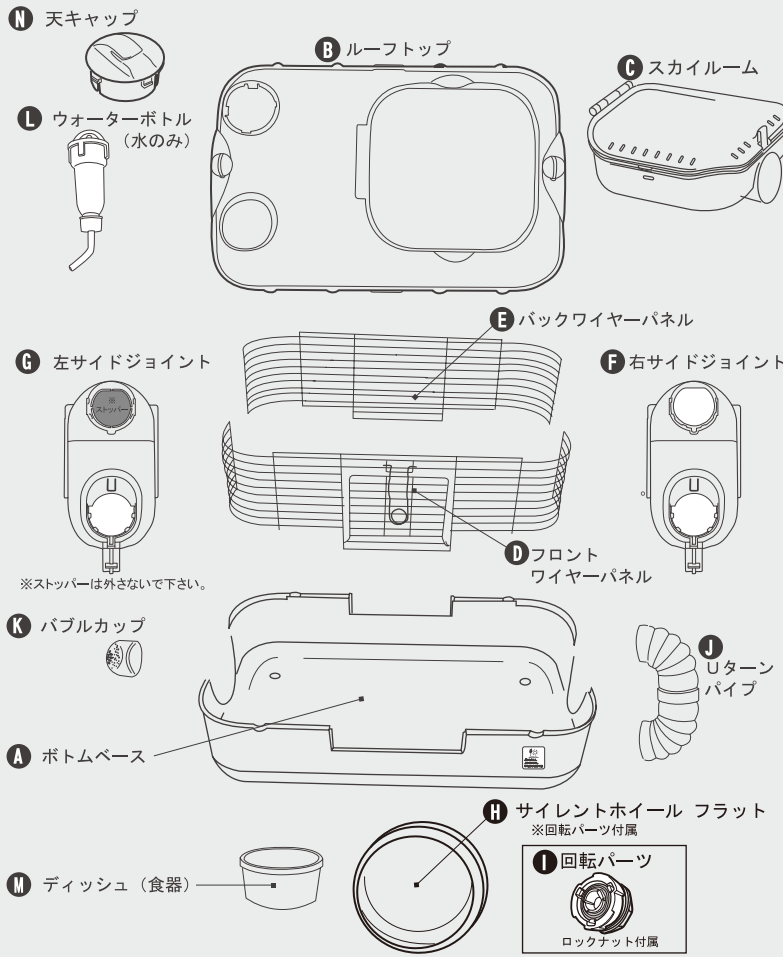
⚠️ ご注意

- 本品は、ハムスター飼育用の屋内設置用飼育ケースです。他の目的及び生き物には使用しないで下さい。
- まず、中身(パーツ類)を取り出し、各部品が揃っているか、部品に不具合(ワイヤーのゆがみ、成型不良、破損など)が無いが、よく確認して下さい。
- ペットをケース内に放して使用する前に、必ず組み立てが完了している事や各部品に異常が無いが、ロック部等が正しく機能するかを再度ご確認ください。
- 小さなお子様等が、本品をおもちゃにして遊ばないように注意して下さい。力を入れて押さえつたり、ワイヤーの隙間等に手や指を入れないように注意して下さい。
- 組み立てやお手入れの時は、手や指等にケガをしないように注意して下さい。また、各種パーツ(特に樹脂部分)を破損させないように丁寧に扱って下さい。
- 本品の設置は、平坦で安定した場所で生き物の飼育環境に合った環境にして下さい。
- 直射日光の当たる場所や高温・高湿度の場所や火気の近くには置かないで下さい。ペットの死亡や火災、本体の変形や破損の恐れがあります。
- 本品を移動させる時は、ベーストレイ(底部)より持ち上げて、慎重に移動させて下さい。乱暴に移動させると中の用品類が動いたり、ペットが驚いて思わぬケガをする恐れがあります。
- 樹脂パーツのお手入れの際は70℃以上の温水は使用しないで下さい。樹脂が変形する恐れがあります。
- ハムスターの標準的な体力を想定して設計しておりますが、中にはケースの内部を激しくかじる個体や力が強くロックを外す個体もいますので破損や脱走等の危険を感じたら使用を中止して下さい。また、正面扉部に別途ナスカン等で確実にロック出来るようにして下さい。
- 扉部やキャップ等、開け方を学習してしまう場合がありますので、危険を感じたら使用を中止して下さい。
- 生き物は体格(体重やサイズ等)や性格等に個体差があり、予想外の行動を取ります。
- 飼育者はペットの行動や習性をよく理解・観察し、本品の使用範囲を超えるような場合や異常・危険を感じた場合は直ちに使用を中止して下さい。なお、飼育時に於ける事故等に関しましては責任を負いかねますので予めご了承下さい。

※本説明書は、No.C116の図を元に説明しておりますが、組み立て方法等はD/Gの各シリーズ共通です。(付属パーツ等の色や形は予告無く変更する場合があります。)

パーツリスト

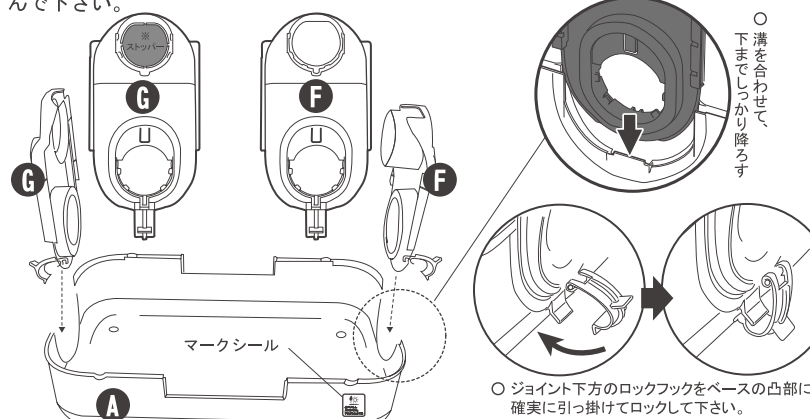
- 下図と照らし合わせてパーツの確認をして下さい。



○ パーツには、右用と左用/前用と後用があります。
各パーツの向きを間違えると、うまく組立てが出来なくなりますのでご注意ください。

STEP 1 サイドジョイントのボトムベースへの取付け固定

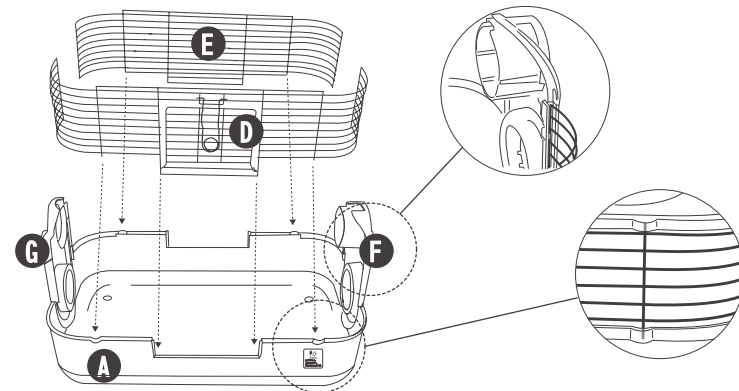
ボトムベース **A** をマークシールを手前にして平らな所に置き、左サイドジョイント **G** 「穴が1箇所ふさがっている方」と、右サイドジョイント **F** 「穴が2箇所両方開いている方」をボトムベースのそれぞれのU字型受けにスライドさせてはめ込んで下さい。



※ 左サイドジョイントの上のジョイント穴は初期状態では塞がっています。これは、別途オプションパーツを取り付ける場合にストッパーを取り外して使用します。
ストッパーは一度外すと元に戻せませんので、取り付けるパーツを用意するまで外さないで下さい。ハムスターが逃げ出す恐れがあります。

STEP 2 ワイヤーパネルの取付け

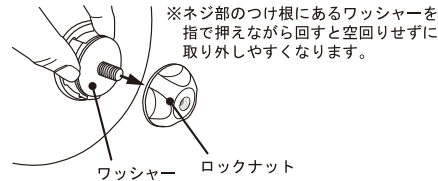
バックワイヤーパネル **E** と、フロントワイヤーパネル **D** を各両サイドジョイントの溝にゆっくりとスライドさせて、ボトムベース **A** の受けにきっちりと入るまでゆっくりと押しはめ込んで下さい。



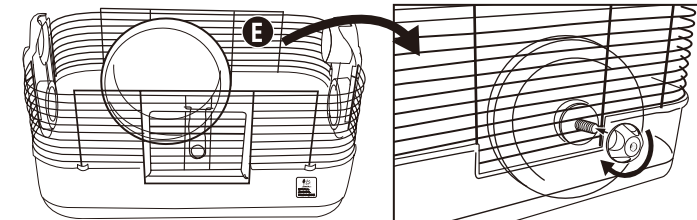
***ワイヤーパネルが浮いた状態になっていると、STEP 4 でのルーフトップがきっちりと取り付け出来ないので確実ににはめはめ込んで下さい。**

STEP 3 ホイールの取付け

H サイレントホイール フラットの背面に取り付けてある **I** 回転パーツからロックナットのみを回して取り外しておきます。

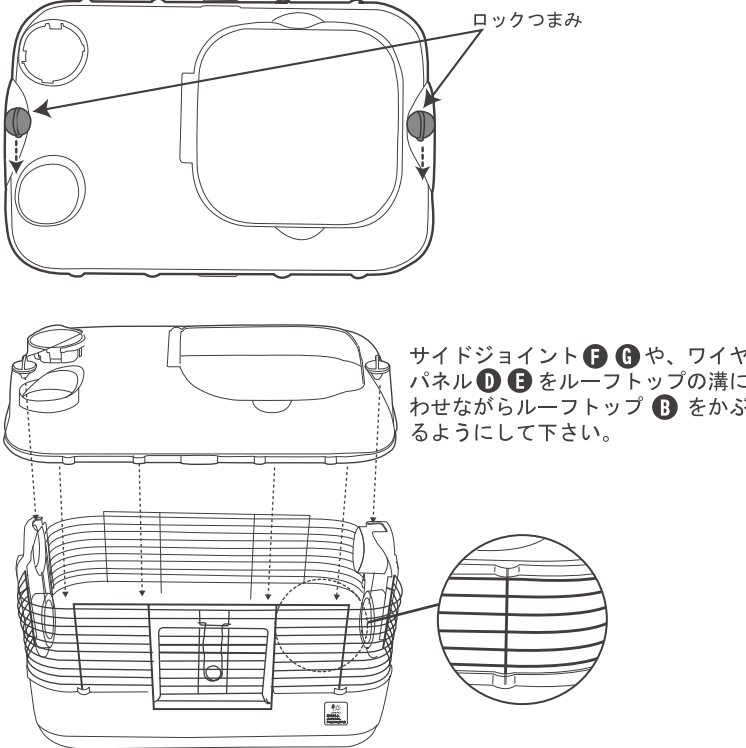


E バックワイヤーパネルの隙間に、ケージの中から、回転パーツのネジ部を差し込んで外側に出し、外側からロックナットを回転させて固定して下さい。

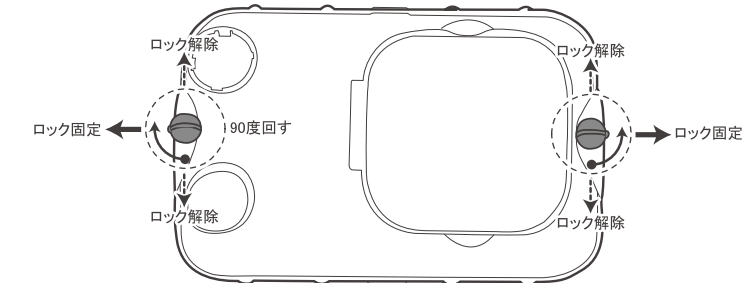


STEP 4 ルーフトップの取付け固定

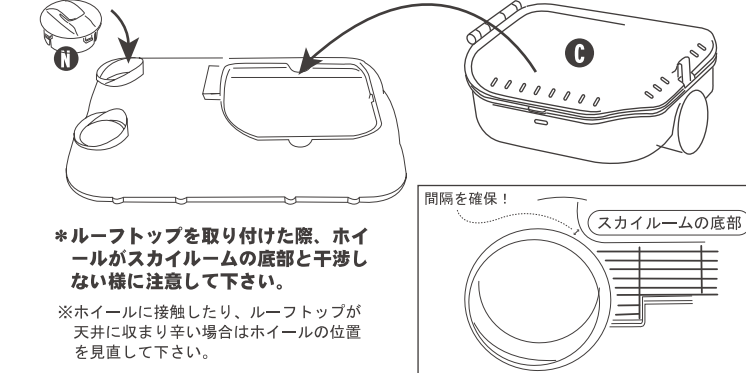
まず、ルーフトップ **B** のロックつまみが図のように、正面を向いているかを確認をして、向きが変わっているようであれば、正面にしてからケージと合わせます。



溝にしっかりとハマっている事を確認してから
左右のロックつまみを90度回して、ロックを固定します。
※ サイドジョイントにロックがしっかりとかかっているかご確認ください。



天キャップ **N** を後方のジョイント穴に差込み、ひねるように回転させて固定します。その後、スカイルーム **C** を取り付け穴にしっかりと差込んで下さい。



***ルーフトップを取り付けた際、ホイールがスカイルームの底部と干渉しない様に注意して下さい。**

※ホイールに接触したり、ルーフトップが天井に収まり辛い場合はホイールの位置を見直して下さい。